

NPO・草の根活動**日本語ボランティア
「パステル」(大東市)**

日本語ボランティア「パステル」は、発足後10年の比較的新しい民間活動団体です。

そのぶんまだ未熟な面を持ちながらも、古いしがらみやマンネリに惑うことなく、前向きな試みに積極的に対応していく姿勢を常に信条としています。発足の経緯や活動は次に紹介するとおりです。

- 設立 10年前社協ボランティアグループとして発足、登録
- 目的 主に大東市在住の日本語の不自由な外国人に生活ガイド、日本語指導、交流会等を通して、文化ギャップの理解と日本人社会との友好を助ける
- 活動人数 2008年現在 指導ボランティア 25名
外国人学習者 50~60名
- 活動場所 大東市総合社会福祉センター内
- 時間 平日 午前9:00~午後8:30(日、祝日除く)
- 学習者 主に中国、韓国、タイ、ベトナム、フィリピンなどアジア系ですが公立校のAET(英語指導助手)など欧米系の方も増えています。
- 活動内容 曜日や時間の限定をせず、平日センターが開いている限りクラス設定をしている点が他の教室と違うユニークなところ。ボランティアと学習者の予定を一人ひとりコーディネートして各自の都合の良い時間を優先して学習する大変丁寧な家庭教師型を取っています。
月一回 例会、自主研修において、会員相互の情報交換、外部講師とともに日本語と指導の研修をして、常に自己研鑽の努力をしています。
会員と学習者、学習者やその友人家族同士の友好を図り、毎年いろいろな形でイベントしています。
(ハイキング、新年会、かるた会、お茶会、スピーチ大会、着付けなど)
また、外部との交流や講習などは積極的に参加、協賛しています。
- 展望 地域性のあるテキスト作成、生活案内刊行物のルビ、翻訳編集、資格指導者養成、講座の助成などに取り組み、柔軟な活動を望んでいます。
- 会員募集 日本語教師資格者、日本語指導講座修了者、100時間以上ボランティア経験者のいずれかに該当する方。
- 問い合わせ 大東市総合福祉センター TEL 072-874-1082

**いきいき歌体操グループ
(八尾市)**

寝たきりゼロをめざして「寝たきりにならない、させない、つくらない」をスローガンにいきいき歌体操グループを発足したのは1988年10月、今年で20年になります。「年齢に関係なく歌体操をして、いきいき楽しくボランティア活動をしましょう。」とスタートしたときは10名でしたが、現在男性5名・女性41名が活動しています。

「寝たきりにならない、させない、つくらない」を目的とするこの活動は、は、障害のある方もない方も一緒に歌体操をして、健康増進にリハビリに助け合い支え合えるお友達の輪を広げ、ノーマライゼーションの地域づくりに取り組んでいます。活動は、老人ホーム・デイサービス・介護保険施設・グループホーム・老人福祉センター・地域のコミュニティーセンター・障害者施設等で歌体操をしています。他に八尾河内音頭まつり、八尾健康体操フェスティバル、体操フェスティバル国際大会、野遊祭等のイベントにも出場しています。昨年度の活動は、定期活動212回延べ9,016名の参加、その他不定期活動が48回で延べ2,048名の参加、総勢11,064名の方たちと歌体操を通して、共に生きる喜びを感じ、時を過ごしたことになります。この活動は、大阪府内一帯に広がっています。また、歌体操は日本全国はもちろんのこと、海外にまでおよび、中国やカナダの方たちと歌体操で交流したこともあります。年齢も20代~80代のボランティアの方たちが活動しています。毎年歌体操の参加者と共にボランティアが出演している「八尾河内音頭まつり」や大阪市中央体育館での「体操フェスティバル国際大会」は最高に盛り上がりました。

歌体操とは、最初に昔懐かしい童謡・唱歌・ナツメロ・演歌等を歌の上手下手に関係なく、みんなで歌った後、深呼吸をして歌にあわせて身体を動かします。頭の体操・手指・上肢・全身・下肢を刺激する体操を、季節の歌やいろいろな歌に合わせてリズムにのせています。「どこでも、だれでもOK。」楽しみながら健康増進、老化による機能低下予防に役立ちます。家に閉じこもりがちの方たちの社会参加促進に大変好評です。

こうした活動が認められ、テレビ放映、新聞等掲載されたこともあります。平成9年、読売新聞社より「第17回福祉活動奨励賞」を受賞したのをはじめ「八尾市民福祉賞」「知事賞」「厚生労働大臣賞」「八尾市長賞」を受賞しました。

いきいき歌体操グループの活動が20年継続できたのも社会福祉協議会、各関係機関のご協力ご支援をいただき、歌体操を通して出合った多くの方々のお陰です。

これからも私たち会員一同一丸となり、感謝の気持ちでいきいき明るく歌体操をして、ますます多くの人たちとの出会いとふれあいの中で活動に励みたいと思います。

